

西濃医療圏における 病床再編計画

令和2年11月2日(月)
J A 岐阜厚生連

目 次

1. 西濃医療圏の現状
2. 揖斐厚生病院・西美濃厚生病院の現状と課題
3. 西濃医療圏における病床再編の趣旨
4. 病床再編・新病院構想の基本的な考え方
5. 病床再編計画
 - I. 新病院の整備計画
 - II. 西美濃厚生病院（病床再編後）の施設利用計画
 - III. 揖斐厚生病院（病床再編後）の施設利用計画
6. 西濃医療圏における厚生連病院の病床数

1. 西濃医療圏の現状

西濃圏域は、大垣市、海津市、養老郡（養老町）、不破郡（垂井町、関ヶ原町）、安八郡（神戸町、輪之内町、安八町）からなる西濃地域と、揖斐郡（揖斐川町、大野町、池田町）からなる揖斐地域の2地域（2市9町）により構成されており、圏域の総面積は1,432.97 k m²で県全体の13.5%を占めています。

地勢は、県の西南端に位置し、北部の山岳地帯から南部は海拔0 m地帯で多くの一級河川（揖斐川・根尾川・春日川・杭瀬川・牧田川）が圏域内を流れ、河川流域を中心に低湿地帯が多数存在し、昔から水害等が多く発生しています。東海南海トラフ地震等では激しい揺れと浸水・家屋倒壊等の被害が想定されています。東部は岐阜圏域及び長良川・木曾川を境に愛知県と、西部は越美・伊吹山地、鈴鹿山脈、養老山地を境に福井県、滋賀県、三重県にそれぞれ隣接しています。

（揖斐厚生病院 公的医療機関等2025プラン一部抜粋）

2. 揖斐厚生病院・西美濃厚生病院の現状

揖斐厚生病院（281床）の現状

所在地	揖斐郡揖斐川町
主な診療圏	揖斐川町、大野町、池田町
診療圏人口	66,976人（2020年7月現在）
病床機能	高度急性期、急性期、回復期 慢性期
診療科目	22診療科
常勤医師数	27名（2020年3月末現在）

西美濃厚生病院（315床）の現状

所在地	養老郡養老町
主な診療圏	養老町、海津市南濃町 大垣市上石津町
診療圏人口	48,049人（2020年7月現在）
病床機能	急性期、回復期、慢性期
診療科目	15診療科
常勤医師数	22名（2020年3月末現在）

2. 揖斐厚生病院・西美濃厚生病院の課題①

課題

◎医師不足

- ・臨床研修医制度、新専門医制度の開始により医師（特に若手医師）が都市部および大規模病院に集中し、地方の病院には医師が集まらない傾向がある。
- ・本会の両病院において現在の運営形態（場所・規模・機能）では岐阜大学からの医師派遣が難しく、急性期医療が成り立たなくなり、地域医療、へき地医療が崩壊する可能性がある。
- ・臨床環境の整備および、医学研究・教育に対して岐阜大学から連携体制を強化するよう要望がある。

2. 揖斐厚生病院・西美濃厚生病院の課題②

課題

○施設の耐震化

- ・ 揖斐厚生病院の本館棟が築後49年経過し、施設の老朽・狭隘化が著しい状況にある。また、未耐震施設として公表されており早急な対応が求められている。
- ・ 西美濃厚生病院の中央棟西棟が築後48年経過し、耐震基準を満たしていない状況にあり、早急な耐震整備が必要である。



以上の課題を踏まえ、今後も両病院の医療機能を維持したまま運営を継続することは難しく、地域医療を継続的・安定的に提供していくためには、病床再編を図る必要がある。

3. 西濃医療圏における病床再編の趣旨

- ・ 岐阜県地域医療構想に基づく病床再編を計画的に行う。
- ・ 西濃医療圏にある揖斐厚生病院（揖斐川町）と西美濃厚生病院（養老町）の病床再編を行い、急性期・回復期機能の新病院施設整備を行う。
- ・ 西美濃厚生病院は医療機能を縮小し、介護医療院を併設した回復期・慢性期機能を担う病院とする。
- ・ 揖斐厚生病院は医師の確保状況を踏まえ、地元行政と協議し地域に必要とされる機能（外来機能、介護系施設等）の提供に努める。

4. 病床再編・新病院構想の基本的な考え方

2020年3月末

揖斐厚生病院

所在地	揖斐川町	
主な診療圏	揖斐川町、大野町、池田町	
診療圏人口	66,976人(2020年7月現在)	
医師数	27名(研修医含む)	
病床機能 281床 (医:281床)	入院区分	病床
	高度急性期	15
	急性期	159
	回復期	55
	慢性期	52
主な医療機能	へき地医療拠点病院 臨床研修指定病院 在宅療養後方支援病院	

西美濃厚生病院

所在地	養老町	
主な診療圏	養老町、海津市南濃町、大垣市上石津町	
診療圏人口	48,049人(2020年7月現在)	
医師数	22名	
病床機能 315床 (医:315床)	入院区分	病床
	急性期	187
	回復期	63
	慢性期	65
主な医療機能	へき地医療拠点病院 在宅療養後方支援病院	

病床再編後(2023年10月予定)

揖斐厚生病院

所在地	揖斐川町
病床機能	具体的な内容については地元行政と協議を行う

【新病院建築】西濃厚生病院(仮称)

所在地(予定)	大野町下磯付近	
主な診療圏	揖斐川町、大野町、池田町、神戸町 本巣市南部、瑞穂市北部	
診療圏人口	113,619人(2020年7月現在)	
医師数	27名+α	
病床機能 400床 (医:400床)	入院区分	病床
	急性期	293
	回復期	82
	緩和ケア	25
主な医療機能	へき地医療拠点病院、 地域災害拠点病院(予定) 臨床研修指定病院、在宅療養後方支援病院	

西美濃厚生病院

所在地	養老町	
主な診療圏	養老町、海津市南濃町、大垣市上石津町	
診療圏人口	48,049人(2020年7月現在)	
医師数	〇〇名	
病床機能 140床 (医:140床) (介:56床)	入院区分	病床
	回復期	105
	慢性期	35
	介護医療院	56
主な医療機能	へき地医療拠点病院	

病床再編

※病床機能については今後の医師確保状況等様々な動向を踏まえて検討する

5. 病床再編計画の全体構成

- I. 新病院の整備計画
- II. 西美濃厚生病院（病床再編後）の施設利用計画
- III. 揖斐濃厚生病院（病床再編後）の施設利用計画

I 新病院の整備計画①

○新病院の概要

計画地 : 大野町下磯付近
主な診療圏 : 揖斐川町、大野町、池田町、神戸町、瑞穂市北部、
本巣市南部
診療圏人口 : 113,619人(2020年7月現在)
病床数 : 400床
病床機能 : 急性期 293床
回復期 107床 (西濃医療圏で初の緩和ケア病棟25床含む)

I 新病院の整備計画②

○新病院が担う機能

- ・西濃北部唯一の総合病院として、救急医療・がん医療・へき地医療・災害医療等を担う急性期・回復期機能の医療提供を行う。
- ・西濃医療圏に緩和ケア病棟（回復期）がないため整備する。
- ・西濃医療圏は回復期機能が不足しているため充実を図る。
- ・近年頻発する線状降水帯等による水害発生時にも、病院機能が継続可能な施設を整備する。
- ・西濃医療圏において2つ目の地域災害拠点病院としての指定を目指す。
- ・感染症発症時に初期から対応可能な全室陰圧による管理が可能なエリアを整備する。
- ・大規模感染症発生時には、1病棟が感染症対応可能となる施設を整備する。

Ⅱ 西美濃厚生病院（病床再編後）の施設利用計画①

○西美濃厚生病院の概要

主な診療圏 : 養老町、大垣市上石津町、海津市南濃町

診療圏人口 : 48,049人(2020年7月現在)

病床数 : 196床(介護医療院56床含む)

病床機能 : 回復期 105床
慢性期 35床 } 140床
介護医療院 56床

主な医療機能 : へき地医療拠点病院

Ⅱ 西美濃厚生病院（病床再編後）の施設利用計画②

○西美濃厚生病院が担う機能

- ・西濃医療圏は回復期機能が不足しているため充実を図る。
- ・慢性期機能は、介護医療院を併設した病院となることから機能を縮小する。
- ・海津市医師会病院と災害時に「応急物質の支援」、「人員の派遣」、「入院患者及び傷病者の受け入れ」等が円滑に行えるよう相互支援に関する協定書を締結。（平成31年1月1日締結）

Ⅲ 揖斐厚生病院（病床再編後）の施設利用計画①

○揖斐厚生病院の概要

- ・ 現病院から直線距離で約7.5 km（車で約10 km、約13分）南方に急性期・回復期機能の新病院を整備するため、今後の機能については、医師の確保状況を踏まえ、地元行政と協議し地域に必要なとされる機能（外来機能・介護系施設等）を提供していく。

6. 西濃医療圏における厚生連病院の病床数

	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	合計
2020年3月現在の 病床数 (揖斐・西美濃 厚生病院合計)	15	346	118	117	-	596
新病院整備後の 病床数 (新病院・西美濃 厚生病院合計)	0	293	212	35	-	540
差引	▲15	▲53	+94	▲83	-	▲56